



令和6(2024)年度

## 3月 保育所だより

あいじ福祉会 三日市保育所  
TEL 54-1064

## あいじ福祉会の理念

基本理念…乳幼児の最善の利益を図る

保育理念…人間性の優れた発芽と稔りを願う親の心を心とし、親の願いを願いとして、乳幼児ひとりひとりの生涯におよぶ幸せに寄与することを念願とする。

厳しかった寒さも日に日に和らぎ、少しずつ春の訪れを感じる季節となっていました。子ども達の成長を喜び、今年度を締めくくる大切な時期です。また、新たな旅立ちを迎える子ども達を送り出す集大成の時期でもあります。“見て当たり前”ではなく、1歩、2歩と成長した姿を認め、共に喜び、時に励ましていくことが子どもの伸びる芽を後押しすることでしょう。

保護者の皆さんと共に子どもの伸びゆく姿に拍手を送り、進学・進級に向かう自信へと繋がるよう日々の保育を重ねていきたいと思います。



## 今月の行事予定



8(土)	保護者会総会 9:00～ 新入園児保護者説明会 10:30～
11(火)	高橋川サケの放流(5歳児) 14:00～ （“ティサービスきずな”との交流）
13(木)	シニア子育てサポーターの日(14日も)
14(金)	交通指導
15(土)	くろワン出発式(4歳児) 8:30～ 3015 食品ロス使い切りの日(30日も)
16(日)	あいじ家庭の日(～22日)
17(月)	身体測定(0～5歳児・～26日)
18(火)	避難訓練 想定・・・地震・洪水
19(水)	イギリッシュタイム 10:30～  ブライアン先生&りえ先生 4・5歳児対象 5歳児らいおん組保護者の方が参観されます。
20(木)	春分の日

## 【おやじ会の皆さん、ありがとうございます！！】

おやじ会の皆さんに設置していただいたイルミネーションが2月で終了しました。この期間、光の美しさに触れ、子ども達のみならず送迎時に親子でほっと心温まるひと時を過ごされたことでしょう。

日頃より、福祉会のため、子ども達のためにご尽力をいただき感謝申し上げます。

おやじ会の運営委員を随时、募集しています  
お手伝い可能な方、お申し出ください。



## &lt;ご協力ありがとうございます&gt;

大雪により駐車スペースが減り、皆様には、大変ご不便をおかけしています。また、駐車場が込み合わないよう速やかな送迎にご協力ありがとうございます。

また、今年も除雪のお手伝いをしてくださった保護者の方があられました。

大変助かりました。

ありがとうございます。



## 保育・教育

この1年、様々な活動や経験を通して、心身共に大きくなった子ども達の成長した姿をお伝えします。



## 0・1歳児 ひよこ組

1歳児の子どもたちは、走ったり一本橋を渡ったり、体を動かして遊ぶことが中心だったのが、最近では保育者を介して、紙パックやハンカチ、おにぎりなど、身近なアイテムを使って友だちとの〇〇ごっこを楽しむようになってきました。それを見て、0歳児の子どもたちも一緒にことがしたくて興味津々です。時には「ダメー」と拒否されますが、保育者が互いの思いを言葉にし「〇〇したかったね」「〇〇ちゃん触られて嫌だったんだって」と伝えながら気持ちを受けとめることで、一緒に遊べるようになってきました。

3月には新しい友だち2名をみんなで温かく迎え、仲良しになりたいと思います。



## 1歳児 りす組

りす組になった当初は、自分の思いを保育者に片言やしぐさで知らせたり、上手く伝えられずに泣いて訴えることも多くありました。しかし、最近では「パズルする」「Aも(お友だちと一緒に)したい」「ノンタン読んで」など、自分の思いを簡単な言葉を使い、やりたいこと、してほしいことなどを伝えるようになってきました。また、友だちの名前を覚え、「Bちゃん！」と呼びかけたり、「Cちゃん(お)はよー」「一緒に(パズル)しよー」と声をかけるなど、自分の思いを言葉で伝え、友だちと関わろうとする姿に大きな成長を感じます。



## 3歳児 いぬ組

読み聞かせの時間を楽しみにしている子が多く、1日1冊以上、絵本を読むようにしています。4月からのべ200冊程の話に親しんでいます。最近は『パンどろぼう』や『わんぱくだん』など、ちよっぴり長い話でシリーズになっている絵本のリクエストが多いです。場面の面白さやドキドキ感など、それぞれの子ども達の感性で楽しんでいる様子が伝わってきます。

『絵本は宝物』と子どもたちに伝えています。大好きな1冊が、これから育ちのバイブルになりますように。



## 5歳児 らいおん組

この1年間、友だちや保育者と一緒に様々な経験をする中で、友だちに興味を持って遊びを真似したり、気の合う友だち2～3名と一緒に会話をし、イメージを共有しながら遊ぶ姿が見られるようになってきました。その中で「いれて」「貸して」など、遊びに必要な言葉が分かり、自分の思いを言葉で相手に伝えたり、保育者が仲介することで時には“待つ”ことが必要ということにも気付き始めています。保育所での生活を通して、友だちと一緒に過ごす楽しさを感じていってほしいと思います。



## 4歳児 くま組

くま組での生活や活動を通して、何事も“やってみよう”と思う気持ちが強くなりました。様々なことに取り組む中で“ちょっと苦手だな”“できないと恥ずかしいな”という思いを持ちつつも、友だちに誘われるとやってみたり、チーム戦で友達同士応援しあったり、勝敗に一喜一憂している姿を見て“楽しそう。ぼく(わたし)もやってみよう”という気持ちにつながっていました。友だちの存在はとても大きいです。

進級まで残り1か月、さらに自信や意欲が持てるよう、子ども達の成長を認め、大切にしていきたいと思います。